

## 愛知県立芸術大学 楽典過去問題出題傾向統計

基礎単元	2010	2009	2008	応用単元	2010	2009	2008
※下記の単元ごとの詳細な出題傾向(統計Data)は、進学ガイダンスにて資料の開示、説明を行っております。							
譜表				音程			
音名				和音	スコアなどによる		
リズム・拍子・テンポ				調性判定	総合問題		
音程				移調			
異名同音程				和音(属九)			
協和音程・不協和音程				音階(和声長音階)			
音階(長音階・和声・旋律・自然短音階)				音階(教会旋法)			
調と調名・調号				音階(全音音階)			
近親調・遠隔調				音階の音名(上主音・上中音・下中音)			
移調				日本の音階(呂・律・陽・陰旋法)			
調性判定(旋律)				平均律			
調性判定(音群)				純正律			
調性判定(和音)				ピタゴラス音律			
三和音(長・短・増・減)				セント・ヘルツ・デシベルなどの単位			
七の和音(長七・短七・属七・減七)				倍音			
七の和音(減五短七)				楽語(反意語・同意語)			
和音の転回形(和音記号)				曲の形式			
主要三和音・副三和音				和音の機能			
終止形				中世の音楽史			
非和声音				譜表(ソプラノ・アルト・バリトン)			
装飾音符の種類							
楽語(速さ・強さ)							
楽語(曲想・奏法)							
振動数比							
演奏時間の計算							
異名同音変換調							
和音記号(度数のみ)							
和音の機能(トニック・ドミナント・サブドミナント)							

・難易度(☆～☆☆☆☆☆)

☆☆☆☆

・傾向と対策

幅広い知識を必要とする難易度の高い問題が出題されます。'09年からは出題形式がかなり変化し、音程・音階・和音・調判定などの基本問題に加え、和音の機能や曲の形式、音楽史など、楽譜について分析する幅広い内容の問題が出されています。また教会旋法も出題されています。より実際の楽譜に即した出題になっている傾向を踏まえ、まずは基礎単元を完璧に自分のものし、その後は単元別の問題集→総合問題集→過去問題の順に取り組み、さまざまな形式、さまざまな範囲の問題を解いてみて、時間の配分など問題に慣れることが重要です。全問題を約30分で解けるようになることを目標にしましょう。楽典は、満点を採るつもりで臨むことが大切です。